

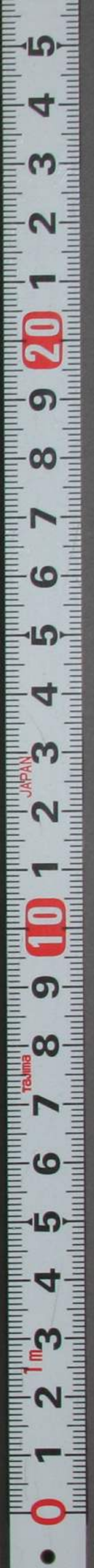


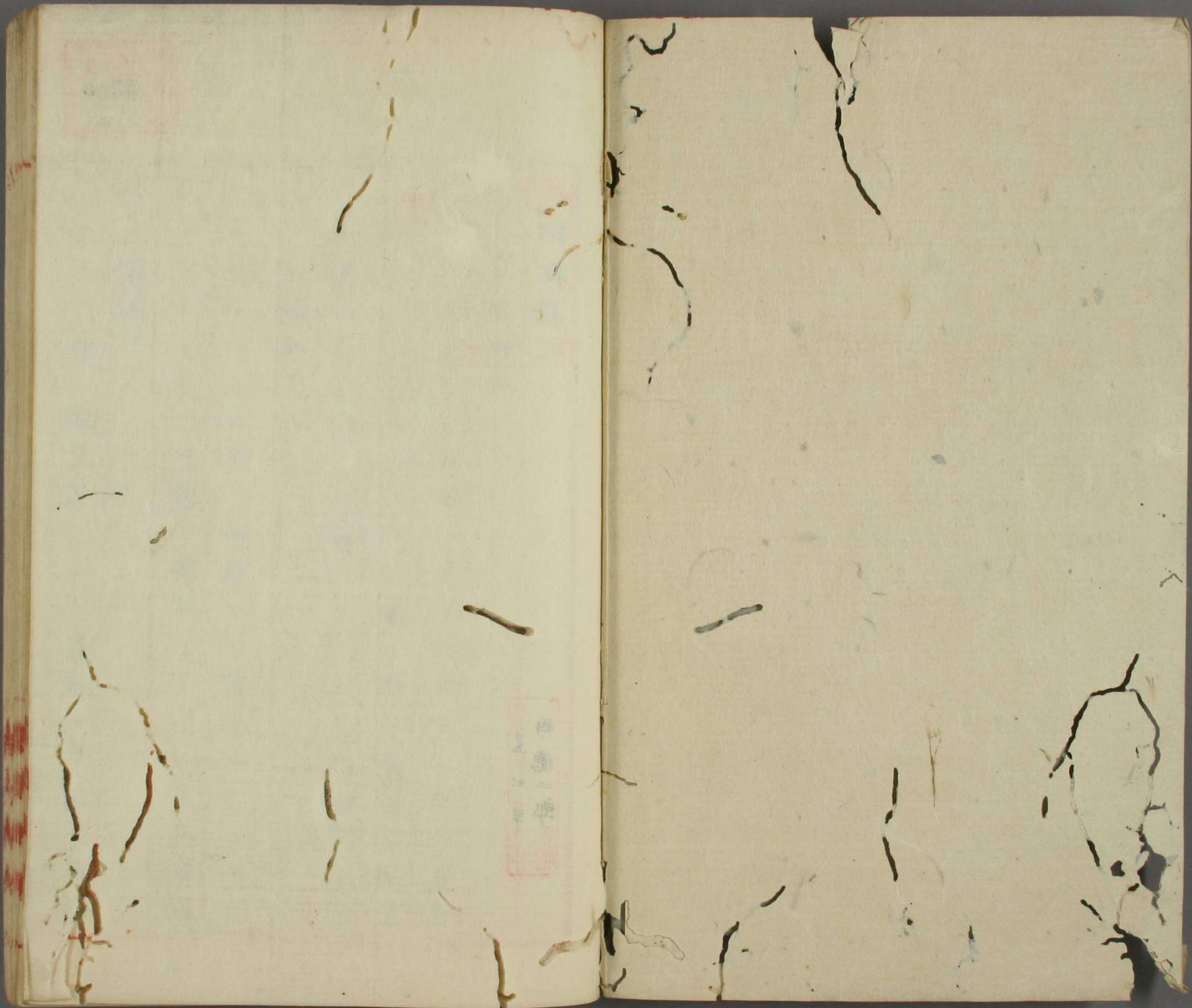
噶什喀尔誌 附録三

共十五册



ル 5
3210
12





紅印

附録第三

里程記

千八百七十六年十二月十八日ヨリ千八百七十七年十一月十日マデノ間ニ於テ露國公使ノ

經過セシアクスー府ヨリクルリヤ府ニ至ル

ノ里程記ナリ

十二月十八日ニ於テ經過セシ道路ハアクスー

府ヨリイレリヤンチ邑ニ到ルモノニシテ其里程

十八露里ナリ

アクスー府ノ設立セラル、窪地ヨリシテ道路

昭和十五年七月三日寄  
西徳二郎氏贈

ハヤタール、マスノ高地ニ昇ル其高地各所ニ  
人民ノ墓所アリ此墓地ヲ過クシハ先ヅ東方ニ  
趣キ而シテ后北東方ニ傾折シ不毛ノ地ヲ行ク  
一三露里ニシテ道路ノ左端ニカウスレノ孤村  
アリ又其右端ニハアブダル小村ニ並ンテ樹木  
繁茂シテ林ヲナスアリ七露里ノ所ノ於テ里  
程ヲ示ス一柱アリ其形截半錐形ヲ為ス

アクスー府ヨリ鳴什略爾府ニ至ルマテノ間  
ニ於テハ道路ノ各所ニ里程ヲ示スノ標柱ア  
リ其指示スル所ノ里程ハ常ニ相同シカラス

其一例ヲ挙グシニアクスー府トバイ府トノ  
間ニ於テハ其里程ヲ標スルモノニ所ハ共ニ  
同シク七露里半ナリバイ府トクイ府トノ  
里程標柱ニハ其距里八露里ヲ示スクイ府  
トノ間ニ於テハ或ハ八露里半ヲ標スルアリ  
或ハ九露里ヲ標スルアルガ如ク其距離相同  
シカラス其標柱ハ各所異ナルコトク皆截頭  
半錐形ナリトス是レ数年前ヤクトーゾバクガ  
旧來存セシ支那文字ノ標柱ヲ廢シテ國字ヲ  
以テ之ヲ作ラシメシモノナリ

アクスー府ヲ距ルハ露里ノ所ニ於テ教戸ノ家  
屋アリ是レダズリヤニガリノ移民ノ部落ナリ此  
地フグラクノ巨木及ヒ白揚樹アリ水ハアルイ  
クヨリ取ルモノナレ氏蓋シ井モ亦タ之アルモ  
ノナランダズリヤニガリニ相ヒ對シ道路ノ右端  
ニボウテト名クル一村アリ又ダズリヤニガリ外  
ニ於テ道路ノ右方ニ砂丘アルヲ見ル此地總テ  
コリュエーチカラ産ス是木ハアクスー府ニ送テ薪  
材ト為スモノナリ  
十五露里ノ所ニ於テ道路ハクシタム河ノ袖川

ニ入ル該河ノ谷地ハ其廣サ二百サ一ゼニアリ  
其岨最モ峻坦ナリ冬ニ至ルハ該河ノ水ハ氷結  
シテ殆ント涸ルガ如シ右河岸ヲ行クハ右方  
ニスエグトト名クル大村アリ前岸ニハ河名ト  
其名ヲ等フスルグレタム村ヨリ尚ホ行進スル  
ト三露里四分ノ一ニシテ窪地ト為リコリュエーチ  
カ能ク之ニ生長ス此地ニ於テハフグラク及  
ヒ白揚モ亦タ生スルヲ見ルアクスー府ヲ距ル  
十八露里ノ所ニ於テ道路ハバムイル細流ノ窪  
地ニ通ス是ヨリ直ニイシリヤニチ村ニ入ル

人ノ言フ所ニ因レバ、イレリヤンチス、ゲトク、  
タム、デウ、テ、ア、ブ、ダ、ル、等ノ諸村ハ、ヤル、バン、村ニ  
屬スルモノナリ、蓋シヤル、バシ、村ニハ、五百戸ノ  
人家アリ

此道路ハ、総テ善良ニシテ、唯修繕ヲ要スルモノ  
ハ、<sup>ハ</sup>ム、イル、河岸ニ於ケル、降段ノ道幅、廣ムル  
ニ在リ、薪材ハ、殊ニコリ、ユ、ケ、カ、ヲ用ユ、而テ是村  
内ニ於テモ、亦タ之ヲ求ムルヲ得マシ、秣料ハ、充  
分ニシテ、水ハ、<sup>ハ</sup>ム、イル、河ヨリ、良水ヲ得ベシ  
十二月十九日ニ於テ、經過セシ道路ハ、則チ、イ、レ

リ、ヤンチ、邑ヨリ、グ、ジ、ヤ、ム、邑ニ到ルモノニシテ  
其里程十三露里ナリ  
イ、シ、リ、ヤンチ、村ヲ過グレバ、道路ハ、牧場ノ間ニ在  
リ、其内樹木ノ生長スルモノアルヲ見ル、旅泊所  
ヲ、距ルニ露里ノ所ニ於テ、一小流ヲ越ハザル可  
カラズ、蓋シ該河ハ、冬時其水大ニ減少スルモノ  
ナリ、河岸ノ窪地ハ、甚タ廣濶ニシテ、春時ハ、水ノ  
浸、逐、スル所トナル、三露里ノ所ニ於テ、一小溝ヲ  
渡リ、四露里ノ所ニハ、廣キ小谷アリ、谷底ニハ、細  
流アリテ、其水多カラズ、細流ヲ過クレバ、道路

左方ニ墳墓アリ尚ホ進メハ則チ園圃ノ爲ル又  
左方ニハ曠原アリ其長サ二十乃至三十露里ニ  
シテ部落ハ一モ之アルナシ行クテ六露里ニシ  
テ路傍ニ教戸ノ家屋アルヲ見ル是則チヤクラ  
ント名クル村ナリ十露里ノ所ニ於テ墳墓アリ  
其並傍ニ一家ヲ構ヘカトラムクテト争ク十一  
露里ノ所ニ於テハ又道路ノ右方ニ墳墓アリ其  
近傍ニハ樹木ノ生長スルヲ見ル  
十二露里ノ所ニ於テハツジヤイツクラー久ウス  
ダシグ河ヲ渡ラサル可カラス此河ハ此道路中

尤モ大ナルモノナリ河床ハ廣濶ナリト蚤氏其  
河水ハ至テ少シ前一露里ノ所ニ於テツジヤム  
村アルヲ見ル該村ニハ家屋百五十戸アリ市街  
大ニシテ其左右ニハ教小街ヲ通ス又村内ニハ  
商隊旅泊所ニケ所アリ其内一戸ハ支那風ノ築  
造ニ屬ス  
此道路ハ渾テ善良ナルニ依リ修繕ヲ要セザル  
ナリ水ハ到ル所アラザルナシ薪材ハコリエーチ  
カニシテ秣料ハ村内或ハ近隣ノ地ニ於テ求ム  
ルヲ得ベシ

十二月二十日ニ経過セシ道路ハツジヤリム邑  
ヨリカーラユルグンニ趣クモノニシテ其里程  
ハ二十露ナリ

ツジヤリム村ヲ出ヅレハ郵路ハ先ツ牧野ノ間ニ  
在リ次ニコリユーチカ及ヒ蘆葦ノ生長スル曠野  
トナルニ露里ノ所ニ於テイクチサイ溝道ヲ  
過ク其底ニハ細河ノ流過スルアリ溝道ヲ過ク  
レバ道路ノ左方ニ砂塊及ヒ鹹塊ノ小丘突出セ  
リ六露里ノ所ニ於テハグンベンレチク及ヒツ  
グラークノ生スルアリ前路ニ進ムニ從ヒ断株

アリ又進マハツラークノ古本ヲ見ル  
旅泊所ヲ距ルセ露里ノ所ニ於テ第二ノ溝道「ヤ  
ク、ツイカント名ルモノ」アリ其幅廣カラスト虫  
ニ其岸壁ハ至テ峻峻ナリ溝道ノ底ニハ細流ア  
リ而シテ其溝道地ノ昇降ハ善良ナル道ナリ細  
流ヲ過クレハ墳墓アリ其上ニ馬尾ヲ附セシ一  
杖ヲ置ク尚ホ進行スレハ道路ハツグラーク樹  
林ニ入ル  
旅泊所ヲ距ルハ露里半ノ所ニ於テ最モ廣大ナ  
ル溝道「ウルグ、ヤール」ニ入ル溝道ノ内ヲ流過



スル細流ハ至テ小ナルモノナリ「ウル」ト「ビ」ヤル  
河ノ前岸ニハ土屋数戸アリ燒炭師ノ住スルモ  
ノトス尚ホ進行スレハ土地ハ漸次ニ高立ノ多  
キヲ見ル「ツ」グラ「ク」ノ樹林ハ衰シテ「レ」ベン  
シ「ク」ノ樹林トナリ道路ノ左方ニ砂立アリテ  
其所ハ或ハ路上ニ出ヅル者アリ十六露里ノ所  
ニ於テ灌木ハ漸ク絶エ

此地ヨリシテ「ア」クス「フ」府ニ接近スル列峯ノ雪  
ヲ戴クヲ遠望スルヲ得ル矣ニ其列峯ハ地平ニ  
在リテ其觀尤モ美ナリ前路ニハ又一山脉アリ

其主脉ト分裂シテ直角ヲ為ス其一山脉ヲ名ケ  
テ「カ」ラ「エ」ル「グ」ン「タ」ウ「ト」曰フ  
十八露里ノ所ニ於テ始メテ「カ」ラ「エ」ル「グ」ン「村」  
ニ屬スル家屋ヲ見ル其家ハ大ニ破壊シ人ヲシ  
テ慘怛ノ情ヲ起サシム其近傍ニハ美麗ナル白  
楊樹数十本アリ十九露里ノ所ニ於テ道路ハ廣  
キ小谷ヲ過ク其小谷ハ砂地ニシテ其底ノ水ハ  
既ニ氷結セリ小谷ヲ過クレハ道路ノ右方ニ廣  
大ナル商隊旅泊所アリ是レ「ヤ」ク「ト」ブ「ベ」ク「ノ」旅  
泊所ニ供スルモノニシテ時ニ依リ食料ヲ貯蓄

スルモノナルベシ是ヨリ進行シテ二十露里ノ  
所ニ於テ「カ」ラ、ユルグン「村」ノ人家ハ総テ六十戸ニシテ「カ」ラ、  
ユルグン「村」ノ人家ハ総テ六十戸ニシテ「カ」ラ、  
ユルグン、タウ「山」ノ麓ニ在リ道路ハ車道ナリト  
虫モ「ウ」ル「グ」ヤ「ル」ノ降坂ハ修繕ヲ要スルモ  
ノトス薪材充塞シテ飲料ノ水ハ池水ヲ用エベ  
シ其水ハ最モ良種ナルモノナリ  
十二月二十二日ニ於テ経過セシ道路ハ「カ」ラ、  
ユルグン「邑」ヨリ「ツ」ジュ「カ」ノ旅泊所ニ到ルモノ  
ニシテ其里程三十六露里ナリ其「山」ノ麓ニ在リ

道路ハ「カ」ラ、ユルグン「村」ヲ出ツレハ北ニ向ヒ  
「キ」ン、タウ「山」ノ麓ヲ行ク「二」露里ニシテ路側  
ニ設置セラレシ回教會ニ達ス此所ヨリ北東方  
ニ折レ緩坂ヲ昇テ「キ」ク「タウ」ノ峠ニ達ス是レ  
則チ旅泊所ヲ距ルニ露里四分ノ三ニ在ルモノ  
ナリ峠ハ高大ナルモノニ非ズト虫氏嶮岨ナル  
モノトス道路ハ則チ巨砂道ナリトス  
峠ヲ過グレハ道路ハ平原ニ降り其降坂ハ甚々  
嶮ナリ又平原ハ窪地ノ状ヲ帯ブ其尤方ニハ高  
丘アリ其後ヨリ遠望スレハ雪峰アルヲ見ル

平原ニ出ル所ニ於テ道路ハ別レテ二トナル  
其尤ニ行クモノハ駄路ニシテクチカル、スイ  
ガマーズヲ過キテ「バイ」府ニ趣ク是レ最モ近  
キモノナリ然レモ我輩公使ノ一行ハ右ニ在  
ルモノヲ取レリ其道ハ車道ニシテ「ハン、ユル」  
ト名ケリ「ハン、ユル」トハ汗ノ道ト言フノ義ナ  
リ  
道路ノ右方ヲ遠望スレバ「キーク、タウ」山アリテ  
地平ニ横ハレリ道路ノ地質ハ過半鹹土ナリト  
ス「ガーラ、ユルグン」ヨリ十二露里ノ所ニ於テ道

路ニ廣キ小溪ニ入ル溪間ハ冬時水無シト虽モ  
春ハ其水充分ナリトス此溪ヲ過グレハ土地空  
濶トナリ十八露里ノ所ニ於テハ山ニ接近シ漸  
次ニ狹隘ノ狭谷ニ入ル狭谷ノ幅ハ七十乃至七  
十五歩ニシテ岩石ヨリ組成スルモノナリ山ハ  
其形正整ナラズシテ植物全ク絶エ狭谷ハ数所  
ニ於テ屈曲シ其初メヨリ四分ノ三露里ヲ過キ  
テ「チュヤダン」駅ニ達ス此地ノ山モ亦タ「チュヤダン」  
ト名ク「チュヤダン」駅ハ唯一戸ノ高隊旅泊所ヲ構  
造セシノミニシテ其内ニ彼スル者数人アリ内

ニハ多少秣料ノ蓄アリ水ハ馱所ノ近傍ニ在ル  
水源ニ於テ之ヲ求ム然レモ其水塩分ヲ含ミ且  
ツ若味ヲ帯ブ「チュヤダン」ラ出ヅレハ道路ハ或ハ  
右ニ轉シ或ハ左ニ折レ其轉折一ナラズトモ且  
全体ヲ論スレバ初メハ北方ニ趣キ後ニハ北東  
方ニ趣クモノトスベシ

狭谷ノ岸壁ハ種々ノ色ヲ帯ブル粘土ヨリ組織  
スルモノニシテ其形体恰モ砲臺或ハ高大ナル  
建築ノ正面ノ如シ岸壁ハ高サハ三百五十「フ  
ト」アリ狭谷ノ底ニハ水ノ在リ「」頭然トシテ

明ナル証跡アリ又塩ヲ出タス「」疑ヲ入ル可ラ  
サルモノアリ又粘土ノ内ニハ「ギ」「プ」ノ石炭種  
アルヲ見ル道路ハ渾ラ砂道ナルモ善良ナルモ  
ノトス「チュヤダン」馱ヨリ四露里半ノ所ニ於テ狭  
谷ニ第二ノ馱所「」ラクダン「」アリ是馱ハ人民  
ノ既ニ廢棄シテ用ヒサルモノナラン「」ラク  
ダン「」ヲ過クレバ狭谷ハ廣張シ狭谷ヲ為スノ山  
ハ漸次ニ下依リ道路ハ遂ニ小溪ニ入ル  
二十六露里ノ所ニ於テ道路ハ小溪ヲ出テ右ニ  
走り九ノ三露里ノ間ハ小岐ヲ越ヘテ遂ニ新ニ

平原ニ入ル道路ノ左ニ在ル山ハ弓形ヲ為シテ  
前路ニ出ツ道路ハ平原ヲ過ギテ「チェル、タウ」山ニ  
接近シ遂ニ東ニ轉シテ該山ノ麓ニ出ツ其后多  
クノ小溪ヲ過キ三十六露里ノ所ニ於テ「ツジニル  
ガ」ノ旅泊所ニ達ス旅泊所ニ至ルノ前三橋ヲ渡  
ラザル可カラズ其橋梁ハ細流ニ架スルモノニ  
シテ其細流ノ水ハ塩分ヲ含メリ「ツジニルガ」ノ旅  
泊所ハ三戸ノ商隊旅泊所ヨリ成ルモノニシテ  
其内二戸ハ花立シ一戸ハ獨立ス就中一ノ商隊  
旅泊所ハ山ニ沿フヲ以テ他ノ二戸ノ商隊旅泊

所ヨリハ其屋上特ニ高シトス商隊旅泊所ノ山  
麓ニ在ルモノハ渾テ煉瓦ヲ以テ之ヲ築造シ「ヤ  
ク」ゾ、ベク」ノ旅行スル所ハ此館ニ宿泊シ第二  
ノ商隊旅泊所ハ「ヤク」ゾ、ベク」ノ從者ノ宿泊ニ  
充ツルモノナリ我輩ハ第二ノ旅泊所ニ就テ宿  
泊ス第三ノ商隊旅泊所ハ則チ人民ノ数家族之  
ニ住居ス旅泊所ヨリ南方ニ一路アリ是レ銅鑛  
ニ行クモノナリ  
道路ハ「カ」ラ「エ」ユルグ「ント」ツ「ジニルガ」トノ間ハ至  
テ善良ナリト岳氏狭谷ノ道ハ修繕ヲ加ヘザル

可カラズ道路ニ在ル水ハ塩分ヲ含ム然レトモ  
旅泊所ニ於テハ鑛泉アリ薪材秣料ハ甚タ乏シ  
十二月二十日ノ道路ハ則チ「ツジュールガ」旅泊所ヨ  
リ「クレタム」ニ行キシモノニシテ其里程二十四  
露里ナリ

「ツジュールガ」ヲ出デ三露里ノ間ハ道路ノ左端ニ山  
嶺アリ道路ハ則チ多少其支脈ヲ越エ山ノ地質  
ハ粘土ニシテ其頂上ハ円形ヲ帶ブ其山ノ高サ  
三百「フート」ニ達ス旅泊所ヲ距ル三露里ノ所ニ  
於テ小溪アリ粘土質ノ丘陵此小溪ヲ為ス道路

ノ小溪ノ内ニ在ルモノハ露里ニシテ其内一山  
岐ヲ越ヘザルベカラズ之ヲ過クレハ道路ハ則  
チ凹所ニ入ル其凹所ノ底ハ甚タ深ク其左端ニ  
ハ粘土ヨリ為レル高丘アリ此所春時漲水スル  
時ニハ道路ヲ浸没スル「」アリ潦地ニケ所アリ  
乾木ヲ横タヘ之ニ盛ルニ土ヲ以テス旅泊所ヲ  
距ル十一露里ノ所ニ於テ道路ハ山地ヲ出テハ  
「ムサルト、ダリヤ」河ノ谷地ニ入ル其周囲ノ山嶽  
ハ元トシテ植物アルヲ見ス旅泊所ヨリ此所ニ  
到ルマデノ道路ハ砂地ニシテ最モ善良ナルモ

ノナリ

「ムザルト」ダリヤ河ノ谷地ハ前ノ山地ニ比スレ  
バ大ニ異ナル所アリ則チ谷地ノ中央ニハ河流  
アリ其西岸ニハ樹木ノ并植スルヲ見ル此地ノ  
山嶽ハ道路ノ右ニ在リ十二露里ノ所ニ於テ道  
路ハ一橋ヲ渡テ「アルイク」ヲ越エ其左端ニハ教  
戸ノ家屋アリ是「ヤクアルイク」村ニ属ス「アルイ  
ク」ニ沿フテ凡ソ百本ノ白楊樹生長ス以上ノ橋  
梁ヲ距ル羊露里ノ所ニ於テ教戸ノ貧家アリ「ヤ  
フダルト」ト名ク

「ジャフダルト」ヲ距ル一露里半ニシテ道路ニ「シラ  
ク」<sup>ノ化</sup>石ノ充塞スル粘土制ノ高丘アリ此高丘ニ  
ハ多クノ廢趾ヲ存シ其内未タ人民ノ住スルモ  
ノ二戸アリ橋梁ヨリ「ヤクアルイク」ヲ過ギテ以  
上ノ高丘ニ到ルマデノ道路ハ塵埃多シト蚕氏  
「タル」樹之ニ生長ス高丘ヨリ一露里四分の一  
ニシテ道路ノ左辺ニハ家屋ノ并立スルアリ「タ  
ール」樹其近傍ニ生長ス道路ハ此地ヲ過ギテ一  
橋ニ達ス此橋ハ「アルイク」ニ架スルモノニシテ  
尚ホ進メハ墳墓アリ其近傍ニ樹木ノ繁茂スル

ヲ見ル墳墓ヲ過グレバ道路ハ小溪ノ省辺ニ沿  
ヒ遂ニ之ニ降り東方ヨリ北方ニ轉ジテ進行ス  
行クコト凡ソ一露里半ニシテ殆ントムガルト、  
ス」河ニ達ス其間一溝渠ヲ越ユルモノナリ是  
ヨリ道路ハ再タ東方ニ向ヒ旅泊所ヲ距ルニ  
十二露里ノ所マデハムガルト、ス」河岨ニ沿フ  
モノナリ此所ニ至ルノ前遠カラズシテムガル  
ト、ス」河ノ袖川ニ架スル橋梁ヲ渡ラザル可カ  
ラス蓋シ其道路ノ左辺ニハ家屋アリ其近傍ニ  
樹木数十株ノ生スルアルヲ見ル是レ則チ「チヤク

チ」村ナリ以上ノ橋梁ヲ過ギ行ク「一露里四  
分ノ一ニシテ道路ハ其左方即チ北東ニ轉シ而  
シテ后ムガルト、ス」河ヲ渡ル是レ則チ旅泊所  
ヲ距ル十二露里ノ所ナリ此所ニ於テ我輩公  
使ノ一行ハ大路ヲ出テ北西ニ向テ小路ヲ取レ  
リ  
ムガルト、ス」河ハ所ニ依リ數流ノ袖川ヲ有シ  
其流勢激ナリトス土人ノ言フ所ニ因レハ該河  
ハ春時出水ノ多キヲ以テ淺瀬ノ渡ル可キ所甚  
タ少シトムガルト、ス」河ノ廣サハ五「サ」セヨ



リハ「カ」ジエニ至ル該河ヲ去リ北西ニ進行シ旅  
泊所ヲ距ル二十四露里ニシテ「ク」シ、タム「邑」ニ達  
ス又「ム」ガルト、ス「河」ヲ渡ル所ニ於テ河岸ニハ  
己ニ暴破ニ属スル一屋ナリ是硝石ヲ製スル所  
ナリ

粘土ノ高丘ヨリ「ク」シ、タム「邑」マデノ道路ニハ「チ」  
「コ」リ、エ「チ」カ「タ」ズナ「ク」ノ生長スルアリテ処  
々牧畜場ノ散在スルヲ見ル「ク」シ、タム「村」ハ凡ソ  
六十戸ノ家屋アリ「ム」ガルト、ス「河」ヨリ引ケル  
「アル」イ「ク」ノ近傍ニ設置セラル此「アル」イ「ク」ニ沿

ヒ園圃及ビ家屋アリ  
此道路ハ善良ナルモノナレ此谷地ヲ出ルノ前  
ハ飯水、薪材、秣料、ハ之アルナレ又防禦ニ便益ナ  
ル地アルヲ見ス旅泊所ノ水ハ良種ニシテ秣料  
ハ村内或ハ其近傍ニ於テ買求スルヲ得ルモノ  
トス  
十二月二十三日ノ道路ハ「ク」シ、タム「村」ヨリ「バイ」  
府ニ趣クモノニシテ其里程ハ則チ三十露里ナ  
リトス  
旅泊所ヲ距ル半露里ノ所ニ於テハ道路ハ「ク」シ、

ガ、タムノアルイツニ沿フモノニシテ后チ其左  
方ニ轉折ス旅泊所ヲ距ルニ露里ノ所ニ於テ我  
輩ハ間道ヲ出デ、昨日マテ過ギ來リシ所ノ街  
道ニ入レリ其両端ニハダリシク白楊ノ生長ス  
ルアルヲ見ル此所ヲ左ニ去ル一露里ノ所ニ於  
テ一屋アリ是ヤクイブ、ベクノ旅泊ニ充ツルモ  
ノトス其家屋ハ則チサークリニシテ粘土ノ上  
ニ築造セシモノナリサークリノ周囲ニハダ  
ル樹數百本生長スルヲ見ル旅泊所ヲ距ル十一  
露里ノ所ニ於テ一橋ヲ渡テシズタムノアルイ

クヲ越エ該橋ヨリ數サトゼニニシテ一橋ヲ渡  
テ溝渠ヲ越エ其溝渠ノ水ハシズタムアルイク  
ヨリ來ルモノトスシズタム橋ノ近傍ニハ數戸  
ノ家屋アリ前キニヤクイブ、ベクノ旅泊所ニ充  
テシサークリノ設立セラル、高地ヨリシテ園  
園及ヒ家屋アリ名ケテ又シズタムト曰フムガ  
ルト河ニ沿フテ其河岸ニハ又園圃アリムガ  
ト、ダリヤ河ヲ渡ル所ヨリシズタムノアルイ  
クマテハ其路辺ニチ樹ノ生長スルアルヲ見  
ル尚ホ進メハ耕田アリ

以上ノ道路ニハ種々ノ小木アリ又以上ノ二橋  
ヲ過グル一露里半ニシテ巨砂ノ高地トナリ蘆  
葦之ニ生長ス其高地ノ高サ一「サ」セニ半アリ  
高地ハ道路ノ左ニ方リテ山ニ沿ヘリ高地ノ右  
端ニ於テ高地ハ漸次ニ谷地ニ入ル此高地ニ沿  
ヒ行ク「六」露里ニシテ道路ノ左ニハ家屋アリ  
白楊樹其近傍ニ生長ス此地ヲ名ケテ「サイリヤ  
ンガル」ト曰フ高地ヨリシテ「ムザルト」河ノ谷地  
ヲ見レバ廣大ナル楕円形ノ窪地ヲ為ス是レ南  
ハ「チユリ」トウ「諸山」北及ヒ北西ハ「バル」イク、タ  
リ

「諸山」ノ積雪アル峻峯ヨリ成立スルモノナリ  
窪地ノ幅ハ凡ソ六十露里アリ其内水少クシテ  
巨砂之ニ散布シ高葦之ニ生長ス然レトモ渾テ  
飲料ノ水ニハ乏シカラズ道路ハ瘦地ニ在ル「一  
十」露里ニシテ後漸ク植物アルヲ見ル道路ノ左  
邊ニハ其山嶽ニ接近スルマデハ部落アルナシ  
然レニ其右邊ニハ「ムザルト」河ニ沿フテ園  
圃アルヲ見ル高地ヲ距ル十露里即チ旅泊所ヨ  
リ二十二露里ニシテ道路ハ全ク谷地ニ入ル其  
両岬ニハ白楊樹ノ生長スルヲ見ル此地ヲ行ク

「露里」ニシテニケ所ノ溪澗ヲ越ヘザル可カラ  
ズ此ニ溪澗ノ間ハ通路ノ一部ハ籠道ナリトス  
尚ホ進行シ第一ノ溪澗ヲ距ルニ露里ノ所ニ於  
テ「カガサナク」河ノ淺瀬ヲ過グ該河ニハ二流ノ袖  
川アリ其内「カガサナク」河ニ接近スル袖川ハ他ノ  
袖川ヨリ大ニシテ其小ナル者ハ水至テ少シト  
ス大ナル袖川ハ其幅數「サ」セニシテ其深サ  
一「フ」ト「四」分ノ一ナリトス「カガサナク」河ノ右岸  
ニ在ル園圍及ヒ家屋ハ總稱シテ「ワチク」村ト  
曰フ該村ニ屬スル家屋ハ四百戸アリ「カガサナク」

ヲ過ギシ后ニ露里ノ所ニ於テ冬時乾涸スル一  
河ヲ越ユ尚ホ進ム「羊露里」ニシテ四季水ノ絶  
ヘザル「カ」プ「サ」クノ細流ヲ越ユ「カ」プ「サ」ク「河」ヲ距  
ル一露里半ニシテ道路ハ一橋ヲ渡テ「ヅ」シ「ユ」ル「ガ」  
ス「河」ヲ過ギ旅泊所ヲ距ル三十露里ノ所ニ於  
テ「バ」イ「府」ノ市街ニ入ル市街ニハ廣大ナル商隊  
旅泊所アリ是レ「ヤ」ク「ト」ブ「ベ」クノ旅館ニ充テシ  
モノナリト道路ノ市街ニ在ルモノハ直行スル  
モノニシテ市街頭ヨリ三百「サ」セニシテ府  
門ニ達ス

「バイ」府ハ甚ダ狭少ナルモノニシテ一市街ヨリ  
成立シ前後ニ各々一門アリ府ノ東部ニ在ル壁  
ハ府ノ近傍ニ於ケル崩崖ニ於テ終リ其壁上ニ  
ハ「サー」クリヲ建立スルモノナリ  
道路ハ渾テ善良ニシテ其橋梁ハ堅固ナリトス  
又橋梁ノ構造極メテ善シ薪枝ハ饒多ナラスト  
魚凡水ハ乏シキヲナシ  
十二月二十六日ニ於テ經過セシ道路ハ「バイ」府  
ヨリ「サラ」イムニ到ルモノニシテ其里程二十八  
露里ナリ

「バイ」府ヨリ「サラ」イムニ行クノ道ハ則チニアリ  
其内ノ一路ハ「ア」クス「門」ヲ出デ「東」門ヲ過グ  
ルモノニシテ又一路ハ「ア」クス「門」ニ接近シ右  
ニ轉シ府ノ半バヲ過ギテ「ク」チヤ「門」ニ對シテ  
主道ニ出ヅルモノナリ「ク」チヤ「門」ノ左ニ在ル  
高地ノ上ニハ要塞アレヒ其周囲ニハ土壁ナシ  
「バイ」府ニハ城壁ノ設ケアルナシ而シテ「ク」チヤ  
「ク」河ノ谷地ニ沿ヘル高地ニ位ス府外ハ市場  
ニシテ其初メ「ク」チヤ「ク」ノ淺瀬ヲ渡ルモノ  
トス后チ漸次ニ河岬ノ低地ヲ昇テ耕田ノ間ニ

出ツ其間「アルイク」ニ架スル橋梁數箇ヲ過グ「バ  
イ」府ヲ距ル六露里ノ所ニ於テ一大墓地アリ回  
教會其近傍ニ在リ白楊樹之ニ生長ス是レ近村  
ニ屬スルモノナラン

「バイ」府ヨリ九露里ノ所ニ於テ道路ハ「カーラ、ス  
」河ノ谷地ニ入ル該河ノ袖川ハ春水ノ流跡ア  
リ蓋シ冬時ハ其水涸ル、モノナリ「バイ」府ト「カ  
」ラ、ス「河」トノ間ダニ跨ル道路ハ樹木ノ駢立ス  
ルモノナリ其左ニハ「ウルバシ」アズガン「エカグ  
イル、アルイチ」イタル「チ」カンギ「ヤンギ、リヤンガル」

等諸村ノ園圃アリ又其右ニハ「アイク」リ「チツ」ジヤ  
「アルイク」チ「ア」ラール「等」ノ諸村アリ「カーラ、ス」  
河ノ窪地ノ道路ノ右ハ全ク平原ニシテ高葦之  
ニ生長シ家屋及ヒ樹木ノ散見スルアリ而シテ  
又左方ニハ山嶽并列シ「カーラ、ス」河ノ狭谷ヲ  
成ス此狭谷ノ頭ハ此所ヲ距ル二十乃至二十五  
露里ノ所ニ在リ狭谷ノ入口ニハ「リヤバール」村ア  
リ  
「カーラ、ス」河ノ狭谷ニ降りシ右ニ露里ニシテ  
道路ノ右ニハ「トク」タス「ン」村ノ園圃アリ尚ホ進

行シ旅泊所ヲ距ル十三里ノ所ニ於テ路辺ニ  
屋アリ名ケテ「アナクイル、リヤンガン」ト曰フ此  
ノ右ヨリ前ハ「ブルン」村ノ初メトス駅所ヲ過  
レバ道路ハ再ビ小木ノ間ニ通ズ其道路ノ両端  
ニハ耕田アルヲ見ル

「バ」府ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テ道路ノ両端  
ニハ墓地アリ墓地ヲ距ル一露里半流水ノ饒多  
ナル「カ」ラ、「ス」河前ニ在河ハ全ク異ナル  
リ細流ニ會フ是レ則チ「カ」ラ、「ス」河ノ袖川ナ  
ルナラン該河ノ前岸ニ即チ郵路ノ左ニ於テ一

旅館アリ其構造ハ恰モ「グ」タム村ノ近傍ニ在  
リシモノハ如シ是亦「ヤ」ク「ブ」ノ旅泊所ニ  
充テシモノナリ旅館ノ前ニハ一ノ墓地アリ旅  
館ヲ距ル一露里半ニシテ道路ハ墳墓アル高丘  
ヲ去テ小溪ニ入り行ク「」ニ露里四分一ニシ  
テ「サ」イラム村ニ達セリ「サ」イラム村ニ接近スル  
ニ從テ樹木及ヒ家屋アルヲ見ル「サ」イラム村ノ  
近傍ニ於テ道路ノ右ニハ大ナル墓地アリ其間  
ニ塔ヲ構ヘ其形要塞ノ如シ土人ノ言フ所ニ因  
レハ回教僧徒ノ住スルモノナリト山ハ漸次ニ

道路ニ接近シ其岐峽ハ「ムザルト」ノ谷地ト「カ  
ラ、ス」河ノ谷地トノ間ニ跨ル此岐峽ハ「サイラ  
ム」ノ近傍ニアルモノトス「サイラム」村ハ二市街  
ヨリ成立シ其市場在ルヲ以テ近傍ノ人民ハ月  
曜日ニ此地ニ輻輳ス「サイラム」村ノ左ニ当リ山  
脉ニ接近シテ「テジャ」クカルガ「村」アリ村内ニハ  
百五十戸ノ家屋アリ「バイ」府ト「サイラム」トノ間  
ニ在ル道路ハ最モ善良ナルモノナリ飲料水ハ  
諸所ニ於テ求ムベシ「サイラム」村ニ於テハ墓地  
近傍ニ在ル泉ヲ斟メリ薪材モ亦タ諸村ニ於

テ買ヒ求ムルヲ得ズ  
十二月二十七日ノ道路ハ「サイラム」村ヨリ「ク  
ズ」村ニ行クモノニシテ其里程ハ則チ十四  
露里ナリ  
「サイラム」村ヲ出ツレバ道路ハ鹹土ノ曠野ニ通  
ス此地ヨリシテ道路ノ右ニハ則チ「カ」ラス  
細流ニ沿フテ園圃及ヒ家屋ノ散布スルアルヲ  
見ル旅泊所ヲ距ル六露里四分ノ一ニシテ路上  
ハ一屋アリ二十五本ノ白楊其周囲ニ生長ス  
其家屋ニハ井ノ設ケアリ之ヲ名ケテ「グ」イスイ



ル駅ト曰フサイラムト駅所トノ道路ハ鹹土ニ  
レテ名所ニ塩塊ノ地上ニ突出スルアルヲ見ル  
道路ハ二回凹所ニ降ル其底ニハ鹹埃アリ此凹  
所ヲ過グルニハ皆良橋ノ設アルモノナリ駅所  
ヲ去レバ道路ハ巨砂ノ道ト為ル其右ニハ丘陵  
アツテ「カ」ラ、「ス」河ヲ繞ル此丘陵ノ内ニハ白  
楊樹ノ生長スルモノアルヲ見ル道路ニ沿フテ  
高地アリ地平ヲ蔽遮ス其前ハ則チ「グズイル」ス  
「」ノ河岬ナリトス  
旅泊所ヲ距ル十一露里ノ所ニ於テ道路ハ「グズ

イルス」河ノ谷地ニ降ル谷地ノ路辺ニハ樹木  
生長シ又家屋アルヲ見ル又其間ニハ耕田在リ  
「グズイル」ス」河ハ「ムザルト」クルトチ「プル」ハネ  
ヂン」ノ近傍即チ「グズイル」村ヲ距ル遠カラザ  
ル所ニ於テ「ムザルト」ダリヤ」河ト連合シテ「ロ」プ  
ノ「」湖ニ入ル  
「グズイル」村ニハ二百戸アリテ各相離隔ス谷地  
ニ入ルノ前左辺ニ一踏アリ石炭墳及ヒ銅鑛ニ  
趣クモノナリ道路ハ至ル所善良ニシテ薪材ハ  
「」ニチ「カ」ヲ用ヒ水ハ「グズイル」駅所ノ井水ヲ汲

又「グズイル、スー」河及ヒ「グズイル、スー」近傍ニ  
在ル泉ヲ用ユベシ

十二月二十八日ノ道路ハ「グズイル」村ヨリ「タワ  
ン」ノ旅泊所ニ行モノニシテ其里程ハ乃チ二十  
五露里ナリ

旅泊所ヲ出ツレハ道路ハ「グズイル、スー」河ヲ過  
ク道路ノ該河ヲ過クル所ハ三流ノ袖川アル所  
ニシテ其内中央ニ在ル一流ニハ堅固ノ橋梁ヲ  
架ス「グズイル、スー」河ハ渾テ其水饒多ナルモノ  
ナルモ冬時ハ処々淺瀬ヲ渡ルヲ得ルモノナリ

該河ヲ渡レバ直ニ其左岸ニ旅館アリ「ヤクロープ  
ベク」ノ旅宿ニ充テシモノナリ「グズイル、スー」河  
ヲ渡レバ峻坂ヲ昇ル其路辺ニハ「グズイル」村ニ  
属スル家屋数戸アリ此地ヲ過グレハニ露里ノ  
間巨砂散布シテ高葦ノ生長スル平地トナリ尚  
ホ進メハ細石散布シテ高葦ノ生長スルノ高地  
トナル

旅泊所ヲ距ル十六里ノ所ニ於テ殆ント暴破ニ  
属スル「ロダンガ」ノ旅泊所アリ旅泊所ニ向ヒ路  
ノ左ニハ峡谷アリ「グズイル、スー」河其内ヨリ流

出スロザルト<sup>ト</sup>近傍ニハ一樹モナク又飲料ノ水  
ナレ此地ニ於テ用エル水ハ四露里ノ外ニ出テ  
驛馬ヲ以テ之ヲ運送ス又此旅泊所ニ住スルモ  
ノハ僅ニ一家族ノミナリ

以上ノ道路ハ一様ニシテ緩坂アリ又北方即チ  
グズイル、ス<sup>ト</sup>河ノ谷地ニ抵行スル<sup>ト</sup>アリ道路  
中數所ニ低地アリ<sup>ト</sup>エ<sup>ト</sup>チカ<sup>ト</sup>之ニ繁生ス<sup>ト</sup>ダ  
ンガ<sup>ト</sup>ノ旅泊所ヨリハ地形大ニ變易ス則チ該旅  
泊所ヨリ去ル<sup>ト</sup>一露里ニシテ土地ノ高度四千  
<sup>ト</sup>トニ上ル之ヲ旅泊所ニ比スレハ高キ<sup>ト</sup>五

百<sup>ト</sup>トナリ道路ハ山地ニ上リ或ハ凹地ニ入  
リ或ハ溪澗ヲ越ユ

グズイル<sup>ト</sup>ヲ距ル二十五露里ノ所ニ於テ凹所アリ  
是レ乃チ<sup>ト</sup>ダ<sup>ト</sup>ン<sup>ト</sup>ノ旅泊所ヲ設置スル所ナリ  
蓋シ<sup>ト</sup>ダ<sup>ト</sup>ン<sup>ト</sup>ノ旅泊所ハ<sup>ト</sup>グズイル<sup>ト</sup>村ヨリ高キ<sup>ト</sup>  
一千<sup>ト</sup>ト餘ナリトス<sup>ト</sup>ダ<sup>ト</sup>ン<sup>ト</sup>ノ旅泊所ハ四角  
形ニシテ其二室ハ人ノ住スルモノトナリ又其  
他回教會一アリ

道路ハ總テ善良ニシテ歩行シ易シ蓋シ全路ハ  
巨砂ノ能ク堅密ナリシモノナレバナリ水ハ全

路間全ク絶へ旅泊所ニ於テモ亦タ然リ此所ニ  
於テ用ユル水ハ八露里ノ外ニ出デクズイルス  
一河ノ水ヲ取り驟馬ヲ以テ之ヲ送ルモノナリ  
薪材ハ瑣少ニシテ秣料ハ「ク」府ヨリ得ルモ  
ノトス

十二月二十九日ニ於テ經過セシ道路ハ則チ「ク」  
「ク」ノ旅泊所ヨリ「ク」府ニ趣クモノニシテ  
其里程二十八露里ナリ

「ク」ノ旅泊所ヲ出ヅレバ道路ハ狭少ナル小  
溪ノ間ニ入ル其小溪ノ地質ハ粘土ヨリ成ルモ

ノナリ其降坂四百「フ」ト「ハ」至テ峻峻ナルモノ  
トス后チ漸ク丘陵ノ突出スルアリテ路幅稍々  
狭縮シ車ハ列ヲ差ブ可カラス然レモ道路ハ平  
坦ナリトス旅泊所ヨリ去ル「ク」六露里ノ所ニ於  
テ旅泊所「ク」ル「ク」ヤ「ク」ヤリ此旅泊所ニハ井アリ其  
水ハ鹹味ヲ含ムモノトス又「ク」ル「ク」ヤ「ク」旅泊所ヲ  
去レハ小溪大ニ廣張シ其底ニハ「ツ」グ「ク」樹ノ  
生長スルアルヲ見ル

旅泊所ヲ距ル九露里ノ所ニ於テ小溪ハ山麓ニ  
沿ヒ道路ハ南東方ヨリ北東方ニ轉シ深底ノ狭

谷ニ入ル谷底ニハ「シエル、ブライク」ノ細流アリ其  
水鹹味ヲ含ミ我輩ノ經過セシ時ハ己ニ堅氷ヲ  
帶ベク此細流ハ近山ヨリ発スル多クノ泉ヨリ  
成ルモノナリ狭谷ニ沿ヘル山嶽ハ甚タ嶮坦ニ  
シテ其上ハ乾燥セル諸色ノ粘土ヨリ組織スル  
モノナリ狭谷底ノ高サハ四百乃至五百「フット」  
アリ狭谷ノ幅ハ進ムニ從テ漸次ニ廣張ス  
旅泊所ヨリ去ル「十四露里」ノ所ニ於テ狭谷ハ  
俄ニ狹縮シ二十五歩ト為ル此所ニハ「シエリツラ  
ント」名クル戍所アリ其内歩兵五人アリ其責任

ハ通行人ヲ監視スルニ在リ此戍所ハ又徵租戍  
所トモ名クルモノナリ  
以上ノ戍所ヲ過グレバ狭谷ハ再ヒ廣張シ南東  
方ニ轉ス狭谷ヲ成立スル山嶽ノ高サハ大ニ減  
少スルヲ見ル旅泊所ヲ距ル十八露里ノ所ニ於  
テ道路ハ狭谷ヲ出テ、廣大ナル高丘ニ昇ル高  
丘ヲ昇ル「一露里半」ニシテ「グーチャ」谷地ニ降ル  
高丘ニ昇ル道路ノ右端ニハ支那風ノ砲台アリ  
又谷地ヲ出ツレハ道路ノ左ニ園圃アリ其中故  
「グーチャ」府ノ遺跡アリ谷地ニ降ルノ前ニ一露里

ニシテ直線ノ廣街ヲ通シテ「ク」ヤ府ノ丘邑ト  
ナル此邑ヲ名ケテ「ジャマールバート」ト曰フ園圃  
ノ初メヨリ「ク」ヤ府ノ城門マデハ三露里ナリ  
トス

道路ハ總テ善良ニシテ「ダワン」ノ旅泊所ヨリ谷  
地ヲ出ヅルマテ二十二露里ハ巨砂ノ堅路ナリ  
薪材ハ「ツグラ」ク「樹」ヲ除クノ外他ニ求ム可ラ  
ズ狭谷ニハ河流アリシト虽モ其水塩分ヲ含ム  
モノナリ而シテ其地ハ防禦適スルモノアリ然  
レモ狭谷ノ外ヲ通行スルヲ得ベキモノナラズ

千八百七十七年一月一日ニ經過セシ道路ハ「ク」  
ヤ府ヨリ「ヤンギーアルイク」ニ趣クモノニシ  
テ其里程二十九露里ナリ  
「ク」ヤ府ヨリ「クルリヤ」府ニ行クノ道路ハ二道  
アリ其一ハ北門ヲ出テ市場ヲ過ギ東門ヲ過キ  
テ河岸ノ廣場ニ出デ北方ヨリ南方ニ趣クモノ  
ナリ蓋シ其河ハ城壁ノ近傍ニ在ルモノナリ又  
一道ハ府ニ接近スルノ前北方ニ轉シ府ノ北門  
ニ出ツルモノニシテ北門ノ近傍ニ於テハ二路  
相ヒ合シ一大「アルイク」ニ架スル橋梁ヲ渡ル

此所ヨリシテ道路ハ流水ノ少キ細流ノ河岸ニ  
沿ヒ行ク一露里ニシテ東方ニ轉折シ廣街ヲ  
行ク一三露里ニシテ「グ」府ノ前邑ニ達ス其  
街隅ニハ巨多ノ商店アリ又進行スルニ從ヒ樹  
木及ヒ家屋共ニ漸次ニ減少ス道路ハ四條ノ「ア  
ル」イクヲ越エ其中ニ「アル」イクハ流水饒多ナリ  
トス此地ヲ過クレハ耕田ノ間ニ曰「グ」府ノ  
遺跡アリ路跡アリ路端ニハ樹木多ク道路ハ塵  
埃ヲ揚グル多シ

「グ」府ヲ距ル七露里ノ所ニ於テ道路ノ右ニ

砲名アリ其近傍ハ「ウ」チャール村ナリトス尚ホ進  
メハ道路ハ低地ニ降ル低地ハ巨砂道ニシテ「ム  
ス」スリマン教ノ為メニ死セシ者墳墓アル「ウ」チ  
カラ「カ」キマデハ五露里ナリ「カ」所ノ近傍ニハ「ア  
ル」イクアリ冬時ハ其水涸ル「モ」ノナリ九露里  
ノ所ニ於テ道路ノ右ニハ「カ」カーチ「ウ」ズン「ク」リ  
「ン」外「ギ」チ諸村アリ又左ニハ巨砂ノ平原ナ  
リ第一ノ「カ」所ヲ距ル三露里半則チ旅泊所ヲ距  
ル十六露里ノ所ニ於テ第二ノ「カ」所アリ名ケテ  
「カ」グイン「ア」ラー「ト」曰フ此「カ」所ニハ一屋アル

家  
林  
本  
林

ノミ  
第二ノ駅所ヲ距ル四露里ノ所ニ於テ第三ノ駅  
所アリカラングルト曰フ此駅所ニ對シ道路ノ  
左ニハ幅廣キ凹所アリ凹所ヨリ去ルテ遠カラ  
ズシテ樹木ノ繁茂スル所ニケ所及ヒ「サークリ」  
ニ三戸アリ駅所ヲ過ギ久シカラズシテ橋梁ヲ  
渡テ凹所ヲ過ク其橋ヨリ四百「サーゼ」ニシテ  
道路ハ凹所内ニ入ル其凹所内ニハ「シヌーツ」ト  
名ル細流アリ其河幅ハ廣カラズト魚氏其水勢  
ハ急疾ナリ此凹所内ニハ道路ヲ去ル四分ノ一

露里ニシテ「マガール」アリ其近傍ニハ樹木生長  
シテ数戸ノ家屋アリ此所ヲ名ケテ「マガール」バ  
「グ」ト曰フ道路ノ右辺ニハ細流ニ沿フテ一小  
村アリ名ケテ「ヌーツ」ト曰フ「シヌーツ」村ヨリ  
シテ道路ハ鹹土ト成リ塵埃甚々多シ「シヌーツ」  
村ヨリ去ルテ四露里即チ旅泊所ヨリ去ルテ二  
十五露里ニシテ流水ノ多キ「ヤススイ、バー」ニ細  
流ニ架スル橋ヲ過ク該河ノ谷地ニハ牧畜場ノ  
遺跡アリ橋ノ左ニハ現今ニ至ルモ尚ホ耕田ア  
ルヲ見ル橋ニ至ルノ前四露里ノ所ニ於テ「ヤク

養集



アルイク村アリ其右ニハ「マガールカ」教箇アリ  
之ニ繼クモノハ「トカープ」村ナリトス又左ハ山  
麓ニ接スト「カープ」ヤ「カアルイク」ニ村ニ於テハ  
家屋合シテ二百戸アリ道路ハ渾テ善良ニシテ  
旅泊所ニ於テ用ユル水ハ「アルイク」ヨリ汲ム  
一日二日ノ道路ハ「ヤカ、アルイク」ヨリ「ヤンギ  
アバート」村ニ趣クモノニシテ其里程ハ四十露  
里ナリ  
「ヤカ、アルイク」ヲ出ヅレハ道路ハ凸凹アル粘  
土地トナリ其低キ所ニハ巨砂充塞ス道路ノ左

ハ山麓ニシテ其右ハ曠野ナリ「ヤンギ、アルイク」  
ヲ距ル十一露里四分ノ三ニシテ「岐那」ノ古戍所  
アリ是レヨリ進行スル四露里ニシテ道路ノ左  
ニハ廢趾アリ旅泊所ヲ距ル二十露里ニシテ廣大  
ナル園圃ヲ有スル「チューリ、アバート」ノ旅泊所ニ  
接近ス「チューリ、アバート」ヨリ去ル「六露里」ノ所  
ニ於テハ鹹土ト巨砂ト混合シ「列」レベシ「チク」  
ノ生長スル所アリ然レモ地形ハ「ヤカ、アバート」  
トヨリ「チューリ、アバート」ニ到ル間ト毫モ異ナル  
「ナシ」チ「エーリ、アバート」ニ達スルノ前ハ八露里

ノ所ニ於テ廣大ナル溪澗「ツグルイ、サイ」ニ入ル  
此溪澗ハ「アク、カムイシ、タウ」山ヨリ來ルモノナ  
リ「チェーリ、アバート」ノ旅泊所ヨリ「ヤンギ、アバー  
ト」邑ニ達スルマデノ間ハ土地鹹土ニシテ「グレ  
ベンシ」チク「クリ」コーク「ゴリ」ユーチカ等ノ生長スル  
ヲ見ル「ヤンギ、アバート」ニ達スルノ前ニ露里ノ  
所ニ於テ「アク、カムイシ、タウ」山ヨリ発源スル「イ  
リヤン」チ「ブラ」リク「河」ヲ越ヘ又「ヤンギ」アバート「村」  
前ニ於テ「ハ」ユール「プラ」ヨク「河」ヲ過キ「ザ」ル「河」カ  
ラズ「ヤンギ、アバート」村ニ於テ「イ」テハ人家三十戸

アリ皆「シ」ユール「ブラ」リク「河」水ヲ以テ飲料ト為  
ス  
「ヤ」カ、アバート「村」ト「ヤンギ、アバート」村トノ間  
ノ道路ハ渾テ善良ナルモノナルモ飲料及ヒ秣  
料ニ窮ス而シテ旅泊所ニ於テ用ユル水ハ塩分  
ヲ含ムモノトス  
一月三日ノ道路ハ「ヤンギ、アバート」村ヨリ「グ」グ  
「ル」邑ニ達スルモノニシテ其里程ハ三十二露  
里アリ  
「ヤンギ、アバート」ヲ出ヅレバ道路ハ分レテ二ト

ナリ其北ニ在ルモノハ山麓ニ在リ又南ニ在ル  
モノハ北路ヲ隔ツル一露里乃至二露里ニ在リ  
北路ハ里程稍々遠シト虫氏四季共ニ通行スル  
ヲ得ル南路ハ里程短縮スト虫氏嶮岨ナルヲ以  
テ歩行シ難ク特ニ春時ヲ以テ甚タシトス我輩  
公使ノ一行ハ其南路ヲ取レリ

此道路ハヤンギ、アバートヲ距ル十三露里ノ所  
マデハ塩塊ヲ有スル粘土ニシテグレベンシチ  
ククリユーカゴリユーチカ等ノ生長スルアリ先ツ  
ヤンギ、アバートヲ距ル三露里ノ所ニ於テ道

路ハ乾燥セル溪澗ヲ越ユ其近傍ニハ墳墓アリ  
其周囲ハ樹木ヲ以テ繞囲セラレ土人ノ言フ所  
ニ拠レハ此墳墓ノ下ニハ有名ナル馬ヲ埋メシ  
モノナリト  
尚ホ進行シテ旅泊所ヨリ去ルテハ露里ノ所ニ  
於テハ廣大ナル溪澗ニ入ル其溪底ニ通スル道  
路ノ右ニハツグラークノ繁茂スルアルヲ見ル  
又十三露里ノ所ニ於テ冬時ハ干涸スルアリ、ア  
ールイ久溝アリ該溝ニ沿フテ道路ノ右ニハ廢  
趾アルヲ見ル

カールアルイクラ過クレハ道路ハ巨砂ノ道ト  
為リエリコーチカ之ニ生長ス總テ十八露里マデ  
ハ斯ノ如キ道ナリ十八露里ノ所ニ於テハ南路  
ト北路ト相ヒ合ス此所ヨリシテ園圃アリ其近  
傍ニハ小屋ノ散在スルヲ見ル道路ノ右ニハ部  
落ノ并列スルアリ園圃ノ頭ヨリ六露里ニシテ  
道路ハ廣大溪澗ヲイザイニ入ル溪澗ヨリ出ル  
泉流ハ冬ニ至ルト虫ハ乾涸レザルモノナリ溪  
澗内ニハ数戸ノ家屋アリヲイザイヲ去ルニ露  
里半ニシテ尚ホ一層廣大ナル溪澗ニ入ル其溪

澗ニハチナールト名ル細流アリテ渾テ冬時ハ  
沼沢多キ地ナリ以上ノ二溪澗ノ間ニハ凹所ア  
リ野草能ク生長スルヲ以テ家畜ヲ牧スルニハ  
便益ナルモノトス

チナールヲ過グレハ主道ヲ去テ支道ニ入り南  
東ノ方位ヨリ南方ニ向ヒテグールニ趣ク其道  
ハ最モ嶮坦ナルモノナリ

グール區ハ一主街ニシテ市店多シ然レモ其  
市店ハ市日ノ外ニハ開店セザルモノナリ主街  
ノ側ニハ小街アリ總テグール村ノ人家ハ六

十戸ナリ

此日ノ道路ハ車道ニシテ善良ナルモノナリ薪材饒多ニシテ「ブグール」村内ニハ秣料饒足シ飲料ノ水ハ良種ニ属ス

一月四日ニ経過セシ道路ハ「ブグール」村ヨリ「ヤングイサル」邑ニ趣クモノニシテ其里程三十露里ナリ

「ブグール」邑ヲ發シ三露里ノ所ニ至レハ道路ハ先ツ土堤ノ間ヲ過キテ「ヂナール」サ「イ」河ニ架スル堅固ナル橋梁ヲ渡ル蓋シ「ヂナール」サ「イ」河ハ

其水最モ多キモノナレト冬時ニ至レハ其水大ニ減少シ淺瀬ヲ為スニ依リ之ヲ渡ルヲ得ベシ

又「ヂナール」サ「イ」河ヲ過グレバ「ブグール」ノ砂島ハ断絶シ道路ハ深キ溝道ヲ過グ

此地ヨリシテ遠望スレバ廣大ナル鹹土ノ平原ヲ見ルヲ得ベシ然レト北方ニハ道路ヲ距ル六乃至八露里ノ所ニ「ブグール」山アリテ以テ地平

ヲ蔽遮ス道路ハ度々凹所ヲ經過ス其凹所ニハ春水ノ來ルアルヲ以テ鹹埃アルモノナリ旅泊所ヲ距ル十三露里ノ所ニ於テ道路ハ深キ

溪澗ニ入ル其底ニハ塩分ヲ含メル「タフン」河ノ  
流ルハアリ十六露里ノ所ニ於テ第二ノ「トフン」  
河ヲ過ク是亦塩分ヲ含ムモノナリ二流ハ皆其  
源ヲ「ブグール」山ニ祭スルモノニシテ道路ヲ距  
ル六「タ」シノ所ニ於テ「サールイ、カムイ」湖ニ  
注入ス六露里ヨリ十七露里マテノ間ニ跨ル道  
路ノ西端ニハ塩塊ノ発露スル廣場ニ出ヅ  
十七露里ノ所ヨリシテ道路ニハ塵埃多ク地形  
モ亦タ一変シ鹹土ノ地トナリ「グレベン」シ「ク」  
ノ生長スルアルヲ見ル進行スルニ從ヒ灌木益

増加シ二十露里ノ所ニ於テ灌木ノ叢森ヲ為ス  
ヲ見ル  
旅泊所ヲ距ル二十五露里ノ所ニ於テ道路ノ左  
ニハ廣大ナル官立ノ旅泊所アリ之ニ繼キテ耕  
田ノ内ニ家屋散在シ樹木又生長スルヲ見ル旅  
泊所ヲ距ル四露里ノ所ニ於テハ凹地ニ接近ス  
其底ニ「カルガルイ」ク「河」ノ流注スルヲ見ル其袖  
川ハ則チ既ニ經過セシモノナリ道路ハ橋梁ヲ  
渡テ一袖川ヲ超エ「ヤングイ、サル」ノ市街ニ入ル  
「ヤングイ、サル」ニハ人家二百戸アリ家屋ノ過羊

ハ市街ノ近傍ニ在リ其餘ハ独立スルモノトス  
此日ノ道路ハ總テ善良ニシテ薪材ハ前半路ヲ  
過グレバ甚多シトス旅泊所飲料ノ水ハ良種ニ  
屬スト虽氏道路間ニ凹地ニ在ル水ハ塩分ヲ含  
ムモノナリ

一月六日ニ於テ經過セシ道路ハヤングイサル  
ヨリ祭レテ「チャルヅイル」村ニ達スルモノニシテ  
其里程ハ二十二露里ナリ  
ヤングイサル村ヲ出ヅレハ道路ハ耕田ノ内ニ  
通レ其后ハ「チリ」ノ生長スル鹹土地ニ入ルヤン

グイサルラ距ル一露里半ノ所ニ於テ「カルガル  
イク」河ノ二袖川ヨリ大ナル「ジダダ」「バード」ノ  
細流ヲ渡ル道路ノ両端ニハ家屋ノ散在スルモ  
ノアリ其周圍ニハ樹木生長ス是皆「ヤングイサ  
トル」村ニ屬スルモノナリ  
ヤングイサイラ距ル二露里ノ所ニ於テ耕田斷  
絶シ鹹土ニ「チリ」及ヒ「グレベン」シチクノ雜生ス  
ルヲ見ル四露里ノ所ニ於テ二大白楊樹アリテ  
道路ノ右ニ生長シ其近傍ニ泉ヲ出シ其後部ニ  
ハ樹木ノ繁茂スルモノアリ

六露里ノ所ニ於テ淺底ノ窪地アリ其岸辺即チ  
道路ノ右ニハ旅泊所アリ此旅泊所ニハ「アズレ  
ツスルタン、カラガ」チベズルクノ墳墓アリ旅  
泊所ヲ過グレバ樹木ハ道路ノ右ニ生シ行ク  
十一露里マデハ鹹土ト為リ「グレベン」シチクノ  
繁生スルアルヲ見ル十露里羊ノ所ニ於テハ「グ  
レベン」シチクハ「ツグラ」トト雜生シテ鬱蒼々  
ル樹林ヲ為ス  
十一露里羊ノ所ニ於テハ一橋ヲ渡テ「クイル」ク  
ツジギト細流ヲ過グ十九露里ノ所ニ於テ道

路ハ既ニ「ツグラ」ト樹林ヲ出デタリ此所ヨリ  
レテ「チャヅイル」村ニ至ルマデノ道路ハ又鹹土ト  
為リ「グレベン」シチク及ヒ蘆葦ノ生長スルモノ  
アリ道路中ニハ「チ」ノ生長スル小地アリ  
旅泊所ヲ距ル二十二露里ノ所ニ於テ道路ハ「チ  
イル」イクノ細流ヲ越ヘテ「チャヅイル」村ニ出ツ蓋  
シ該村ニハ九百戸ノ家屋アルモノナリ此日ノ  
道路ハ渾テ善良ナリト虽氏塵埃ヲ越スト多シ  
飲料ノ水ハ道路ニ於テモ村内ニ於テモ共ニ良  
種ニ屬スルモノナリ



一月七日ニ於テ經過セシ道路ハ「チャヅイル」村ヨ  
リ「イーシ」村ニ到ルモノニシテ其里程ハ十五  
露里ナリ

「チャヅイル」村ヲ出ツレバ道路ハ三露里ノ間牧場  
ノ間ニ在リ其ノ両端ニハ園圃及ヒ家屋散在シ  
其周圍ニハ白楊樹生長ス是皆「チャヅイル」村ニ属  
スルモノナリ旅泊所ヲ距ル一露里半ヨリ三露  
里マテノ間ニ於テ数箇ノ凹地ヲ越ヘサル可カ  
ラス其凹地ノ底ニハ水アリト虽モ冬時ニ至レ  
バ堅氷ヲ結フ三露里ノ所ニ於テ道路ハ「グレベ

ン」ニクシト蘆葦ト雜生スル廣場ニ通ス

旅泊所ヨリ去ル一四露里ノ所ニ於テ鬱蒼タル  
樹林アリ其樹木ノ内ニハ「グレベン」シクシ及ヒ  
「シトダ」ノ生長スルアリ道路ノ左ニ去ルハ乃  
至十露里ノ所ニ於テ山嶽アリ春時ノ山水諸所  
ノ凹地ヲ流通スルニ因リ景色頗ル佳ナリトス  
旅泊所ヲ距ル七露里ノ所ニ於テハ樹林ニ接近  
シ土地凸凹トナリ「グレベン」シクシノ生長スル  
ヲ見ル道路ハ樹林ノ近接ヲ行テ「イーシ」邑ニ  
達ス

「イーレン」邑ニ達スルノ前一露里半ノ所ニ於テ  
ツグラーク之樹ノ繁茂スル小溪ヲ過キ「イーレン」  
村前ニ於テ「イーレン」河ヲ越ユ該河ハ冬時堅水  
ヲ結ブモノナリ蓋シ此河ニハ數條ノ泉流アル  
モノナラン以上ノ道路ハ過羊鹹エナリト魚氏  
或ハ巨砂道ナルアリ道路ハ總テ善良ニシテ春  
時ハ野草路側ニ生長スル旅泊所ノ水ハ井水ヲ  
用エベク且ツ良種ニ属ス然レ馬ハ「イーレン」  
河ノ水ヲ飲ム但シ該河ハ春秋二季共ニ水ノ欠  
乏スルナリナシ

一月八日ノ道路ハ「イーレン」村ヨリ「ナル」村ニ  
趣クモノニシテ其里程二十八露里ナリ  
旅泊所ヲ出ヅレハ道路ハ廣大ナル牧場ノ間ニ  
在リ后其右端ニハツグラーク之樹林ヲ生ス土地  
ハ巨砂ニシテ右端ニハ巨葦ノ生長スルヲ見ル  
六七露里ノ所ニ於テ廣深ナル窪地アリテ樹林  
之ニ生ス路边ニ生長スルツグラークノ間ニハ  
蘆葦及ヒ「グレベン」レキモ亦タ之ニ雜ル旅泊  
所ヲ距ル十一露里ノ所ニ於テ樹林ニ接シタル  
一屋アリ名ケテ「クル」ク「イーレン」ト曰フ其屋

ニハ井ヲ穿ナリ此旅泊所ヲ過グレバクイルサ  
直ノ窪地アリ其近傍ニ於テハツグラー之樹林ハ  
右端ニ在ズシテ左端ニ在リ尚ホ進行シ旅泊処  
ヨリ十六露里ノ処ニ於テ旅泊処ノ廢趾ヲ見ル  
旅泊処ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テツグラーク  
樹ハ全ク絶滅シ土地ハ窪地ト為リ「ゴリユーチカ  
及ヒ」グレベンシチクノ生長スルアリ二十三露  
里半ノ所ニ於テハ新ニ廣場トナリ其廣サ五乃  
至六「チ」ゼニアリ旅泊処ヲ距ル二十八露里ノ  
処ニ於テ「チャルチ」村ニアリ「チャルチ」村ニ達スルノ

前牧場ニ引ケル溝渠數條ヲ越ヘザル可カラ  
ス

「チャルチ」村ノ左ニ在ル山中ニ於テ狭谷在リ「チャル  
チ」河ハ源ヲ其山ニ発ス「チャルチ」村ニハ二十二戸  
ノ家屋アリ以上ノ道路ハ渾テ善良ナリト虽此  
塵埃多キモノナリトス薪材ハ饒多ニシテ「チャル  
チ」河ノ水ハ良種ニ屬スルモノナリトス  
一月九日ニ經過セシ道路ハ「チャルチ」村ヨリ「ツル  
ビン」村ニ至ルモノニシテ其里程ハ四十露里ナ  
リトス

旅泊所ヲ出ヅレバ道路ハ巨砂ノ道トナリ其右  
方ニハツグラークノ生長スルモノナリ然レモ  
所ニ據リ蘆葦ノ掩塞スル所トナル又左方ニハ  
稀ニ「コリエーチカ」ノ生長スルアルヲ見ル旅泊所  
ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テ「ヤンタク」旅泊所  
リ蓋シ「ヤンタク」旅泊所ニハ唯一ノ家屋アルノ  
ニ旅泊所ノ周囲ニハ高壤多シ其高壤ハ砂土或  
ハ鹹土ヨリ成立スルモノニシテ「グレベン」チ  
トク及ヒ「コリエーチカ」ノ生長スルモノナリト  
ス

「ヤンタク」ノ旅泊所ヲ過グレバ道路ハ塵埃ヲ起  
ス又「チャルチ」村ヲ距ル十九露里ノ所ニ於テ才二  
ノ旅泊所「ウワ」アリ此旅泊所ノ近傍ニ於テハ  
前旅泊所「ヤンタク」ノ如ク井アリテ其水塩味ヲ  
含ム「チャルチ」ノ旅泊所ヨリシテ道路ハ巨砂道ト  
為リ高壤アリ其近傍ノ山峯ハ甚高カラスシテ  
道路ニ近ツキ其間一露里半トナル山ヲ過グレ  
バ道路ハ南方ニ轉折シ遠望スレバ廣濶ナル地  
平ヲ見ルヲ得ル地平ノ左ニ當リ「ハイツイン」ク  
「ア」河ニ沿フ諸村ノ園圃アリ

旅泊所ヲ距ル三十八露里ノ処ニ於テ「ツルビン」  
村ニ入ル該村ノ人家ハ道路ニ沿フテ各相離隔  
スルモノナリ

「ツルビン」村ニ入ルノ右道路ノ右端ニハ廣大ナ  
ル牧場アリ「ウワ」村ト「ツルビン」村トノ間ニ跨  
ル道路ハ善良ナリト虽氏塵埃多シトス又薪材  
ハ少カラス「ツルビン」村ニ於テ用ユル水ハ「グル  
リヤ」府ヨリ導ク一溝ニ於テ之ヲ汲ム秣料ハ  
道路ニ於テ求ム可ラスト虽氏「ツルビン」村ニ於  
テ之ヲ求ムルハ至テ易シトス

一月十日ニ於テ經過セシ道路ハ「ツルビン」村ヨ  
リ「グルリヤ」府ニ至ルモノニシテ其里程十六露里  
ナリ  
旅泊処ヲ出ヅレバ右ハ「ツルビン」村ニシテ左ハ  
山麓ナリ「ツルビン」村ノ右ニ當リ六露里ノ処ニ  
於テ園圃アリ其園圃ハ進行スルニ從テ道路ニ  
接近シ旅泊処ヲ距ル十二露里ノ所ニ於テ「クル  
リヤ」府ノ園圃ト相ヒ接ス十四露里ノ処ニ於テ道  
路ハ南方ニ轉シニ溝ヲ渡ル其道路ノ南行スル  
処ハ嶮岨ナルモノナリ

道路ハ以上ノ二橋ヲ過キテ要塞ニ趣ク要塞ハ  
方形ニシテ二里ノ城壁アリ其一方面ハ百五十  
乃至百七十<sup>カ</sup>セ三ナリトス城壁ヨリ城門ニ  
達スルニハ一露里半アリ城門ニ入ルノ前堅橋  
ヲ渡ル其橋ハ流水ノ鏡多ナル<sup>カ</sup>イザイシク  
<sup>カ</sup>河ニ架スルモノナリ  
クルリ也府ハ四角形ニシテ南北二門ヲ備フ其内  
直線ノ街アリ南門ヨリ北門ニ趣ク其長廿四百  
<sup>カ</sup>セ三ナリ此市街ハ府ノ大サニ比スレハ其  
幅廣濶ナルモノナリトス市街ニハ商隊旅泊所

アリ又商店アリ而シテ傍街ハ廣濶ナルモノニ  
非ス古家ハ至テ少シ之ヲ以テ<sup>カ</sup>クルリヤ<sup>カ</sup>府ハ輒  
今ノ構造ニ属スルヲ証スベキナリ城壁ハ数年  
前ノ築造ニシテ之ヲ維持スルノ法ハ備ハレリ  
ト謂フ可シ城壁ノ近傍ニハ家屋アリ園圃ノ之  
ニ附属スルヲ見ル

Handwritten text in vertical columns within a red border. The text is written in a cursive style and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. The columns are separated by vertical red lines.

Red seal impression on the right edge of the page, containing characters in seal script.



